

(ロジックモデル) 原子力災害等医療実効性確保事業 (被ばく傷病者対応研修等放射線防護措置研修事業)

資料 7-2

(インプット)

(令和元年度)
予算 0.2億円

(アクティビティ)

○被ばく傷病者対応研修の実施

放射性同位元素等使用施設等における被ばく傷病者発生に備えた研修用テキストの作成・見直しを行うとともに、研修を実施する。

(令和元年度)
実績額 0.1億円

(アウトプット)

○被ばく傷病者対応研修用テキストの作成・見直し

○被ばく傷病者対応研修の実施

<活動目標>

原子力施設立地等24道府県を除く23都県において研修を実施する。

<活動実績>

- ・ 令和元年度
2県(埼玉県、千葉県)において研修を実施
- ・ 令和2年度(予定)
残る21都県のうち3県において研修実施予定
- ・ 令和3年度以降
残る18都県を対象に毎年度3県程度ずつ研修実施予定

(アウトカム)

○各地域における放射性同位元素等使用施設、医療機関、消防の連携強化



○万一発生する被ばく傷病者の救急搬送、医療機関の受入れや処置の円滑化

(解決すべき課題)

原子力施設立地等24道府県以外の地域における被ばく傷病者を円滑に搬送し、医療処置できる体制の構築

(上位政策・施策)

<政策>
原子力に対する確かな規制を通じて、人と環境を守ること

<施策>
原子力施設等に係る規制の厳正かつ適切な実施